

沿岸漁業の多面的機能は非常に重要な役割を果たしていると思うのだが、中山間地域直接支払制度と同様なものを活性化対策として、考えられないか。

交付金制度ができました。各漁協・関係集落と、離島の漁業活性化のためにどういう取り組みをしたらいいかそれぞれ話をしていたら、その活性化を図るため、今年度から5か年間交付していく制度です。具体的には、各関係集落で説明会をしていく予定です。

農業・漁業と「米のわらしじ」を履いているのだが、米を取りたくても取れない。漁をしても獲りたくても量がない。経費が持たないという事で、どちらにしても低迷している。佐渡の活性化を考える時に、地域における地産地消を大きく指導的立場でもって推進をしていっていただきたい。

今後は施設を造るにしても方々に小さなものを沢山造るよりも、効率良く一定の品質の物を作るという格好にならなくていいと思う。農林水産業については地産地消を本格的にやって、観光・流通とどう結びつけるのかという事も含めて必ずよい結果が出るようにしたい。

支所・市の本庁舎ができた事により、市の物品調達が少なくなっ

ていると感じている。物品調達やサービスの調達が商店街の不況感をなおさら増している。大量一括発注・本庁集中化になっているものの、ルル化を考えられないものか。

物品調達は地域の調達力をそのままにしたいと考えている。急にはできないが、それぞれに努力をしていただいて、受当な価格の設定をお願いしていきたい。

その他各会場で要望、ご意見がありました項目について次に記載します。

国道350号線で急カーブの上で幅員が狭くて、車の交差も非常に危険な箇所が整備されないままになっております。交通事故防止や、観光等の面からも早急に改修するようにお願いします。

金畑線が狭い。タンクはすれ違えず、病院へ行く車が通行し、農耕車等が作業をしていると混雑するので、拡幅をお願いします。

パリアフリーによりお年寄りが楽に買い物できる商店街にしたい。

国道の歩道は段差があり、車椅子で通れるように平らに直してもらいたい。

自校給食は難しくセンター給食にすべてがなっていると、事を聞かされているが、自校給食も再度検討をお願いします。

両津真野赤泊主要地方道の道路整備を早急にお願したい。

認知症の方たちが多くなってきた。高千・外海府地区で徘徊探知機を使いたいと思いましたが、GPSが使えないと言われた。地域格差を早期になくしていただきたい。

災害に弱いのは身障者と高齢者である。寝たきりや車椅子の人達に対する避難方法について住民の意見を聞き、いざと言う時に瞬時に行動できるような態勢にしておいて欲しい。

城山公園について芝の張替えをお願いします。

文学の道を整備してはどうか。

両津埠頭ターミナル前を送迎者・高齢者・身体障害者用の駐車場にしてはどうか。

市内の空き家問題を調査して、国や県に未利用資産の有効利用が可能になるように要望していただきたい。

民間につもれている貴重な文献・文化財・書面、それらを一括して預かる場所も兼ねて、図書館兼資料館として整備をして欲しい。

総合的な体育館が無いので、整備をして欲しい。また陸上競技場も検討してほしい。

北埠頭開発、福祉会館についての要望。

相川202号線は、地域住民が待ちに待っている重要な道路であるので早急にお願したい。

河原田本町商店街の国有地の活用方法についての要望。

市民が積極的に行政に参加できるような事業委託があった方が良い。

新穂歴史民俗資料館の専任の館長がいなくなった。専任の館長を配置していただきたい。

チャレンジ事業の枠を大幅に拡げて、事業を推奨していくという形が良いのではないかと考える。

分館活動についての支援と、継続的な施策をお願いします。

大崎地区から川茂に抜ける県道は農道より悪いので、県道の改

修をして欲しい。

県の普及センター分室がなくなりそうだが、果樹集中の働きかけをお願いします。

佐渡をブロックに分けて、地域振興を図っていくプロジェクトを立ち上げて、地域住民参画の中で練り上げていただきたい。

旧市町村で地域の活性化策や計画を持っており、旧市町村毎に各総合開発計画を持っていたはずであるが、緩急の度合い、各地区の特色を生かして、十分に検討を加え各地区の活性化を図って欲しい。

